



楠の葉

佐賀大学同窓会報 第35号

発行日 2021年7月1日

発行 佐賀大学同窓会

佐賀市本庄町1 佐賀大学 菱の実会館内
TEL 0952-23-1253
FAX 0952-25-5700
E-mail dousoukai@sadai.jp
ホームページ http://sadai.jp/alumni/

編集 会報編集委員会

目次

巻頭言

佐賀大学同窓会 会長 川副 操 … 1~2

佐賀大学の歴史 … 2

佐賀大学同窓会の歴史 … 3

佐賀大学の風景（昔と今） … 3

令和3年度（2021年度）春期定例役員会 … 4

令和3年度 佐賀大学同窓会役員名簿 … 5

同窓会NOW

有朋会

異文化とわたし 大屋 和 … 6

芸術地域デザイン学部同窓会

カメラのレンズ越しに 山城 彩香 … 6

楠葉同窓会

おもいよらない 内田 寛 … 7

佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会

佐賀大学八戸溝宿舍の今 相島 慎一 … 7

菱実会（理工学部同窓会）

還暦を超えてしまいました 柴田 正文 … 8

農学部同窓会

仕事を通して恩返し 田代 大祐 … 8

令和2年度佐賀大学同窓会長賞表彰受賞者 … 9

受賞者の喜びの声 … 10

麓 日向子 南里 咲良

浅川 泰輝 服部 南

理事長就任にあたり 市場 正良 … 11

佐賀大学同窓会・佐賀大学の動き … 11

会費納入のお願い … 11

恩師情報…この一年 … 12

第10回佐賀大学ホームカミングデーの開催 … 12

「第28回佐賀県青春寮歌祭」の中止 … 12

ホームページの閲覧を … 12

同窓会からの連絡 … 12

ご意見メール等募集

名前・住所変更等ご連絡のお願い



巻頭言

佐賀大学同窓会 会長 川副 操（農学・S44年卒）

新緑の候、会員の皆様には益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

一昨年（令和元年11月）に突然発生した「新型コロナウイルス感染症」は、瞬間に全世界へ拡散して各地域で猛威を振るっています。各国懸命の対応にも拘らず多くの犠牲者が発生していますが、ここにきてやっとワクチンの開発で落ち着きの兆しが見えてきた気がします。私達の日常生活や産業・経済・教育、その他あらゆる面で多大な影響・被害を与え、また「3密回避」・「パンデミック」・「クラスター」とか「緊急事態宣言」・「まん延防止等重点措置」や「医療崩壊・診療拒否」など、これまであまり使われなかった聞き馴れない言葉がマスコミにより報道され、日常会話時でも普通に使われるといっ

た、まさに「異常な状態」でした。「ウイルス感染症」の恐ろしさをまざまざと感じさせられたところで、一日も早く「コロナ禍」が終焉して従来での生活を取り戻される事を希うばかりです。

こうした人間生活がかつてない大きな制限を受け、同窓会業務も多くの行事を中止・延期せざるを得ないなか「何か前向きな対応策はないか？」と考え、昨年「第4回役員会」をオンライン会議で開催してみました。大学授業の殆どが「3密」を避ける観点から「Web活用の遠隔授業」となっていた事や企業等が行う本店・支店を結ぶ遠隔会議方式などを参考に、「代表役員会」も対面での開催を避ける為に初めて「オンラインによるリモート会議」で実施し

ました。本部（事務局）と会議参加の各学部長自宅・職場を「パソコン」で繋ぎ行いましたが、当初何か画面に対して「独り言を話す感じ」で微妙な違和感の中で会議を進めました。「一方通行」的になった前回の会議進行を反省して第5回も同様に行い、双方対話も図られたと自負していますが、事務局からのサポートが必要だったし、（よちよち・ぼちぼちのまだまだこれからの感）の会議でした。「After・コロナ」の会議形式として活用して行けるよう充実させていきたいと思えます。

さて、今年度は4月2日に「令和3年度佐賀大学入学式」が開催されました。昨年度は中止となっていた「令和2年度」入学式典もこの日、時間をずらす形で実施されました。

「コロナ感染」対策の為、式典次第の時間短縮やご家族等の出席は禁止され、その他参加者数も制限されるという、例年に比べて寂しい式ではありましたが、入学総代生の力強い宣誓を聞き、「同窓会の次代展開への力」を感じました。

「マスク」装備を必要とせず「ステイホーム」が解除された常態に1日も早く戻り、以前の様な各県地域支部・地区会の皆様方との意見交換が図られる事を期待します。

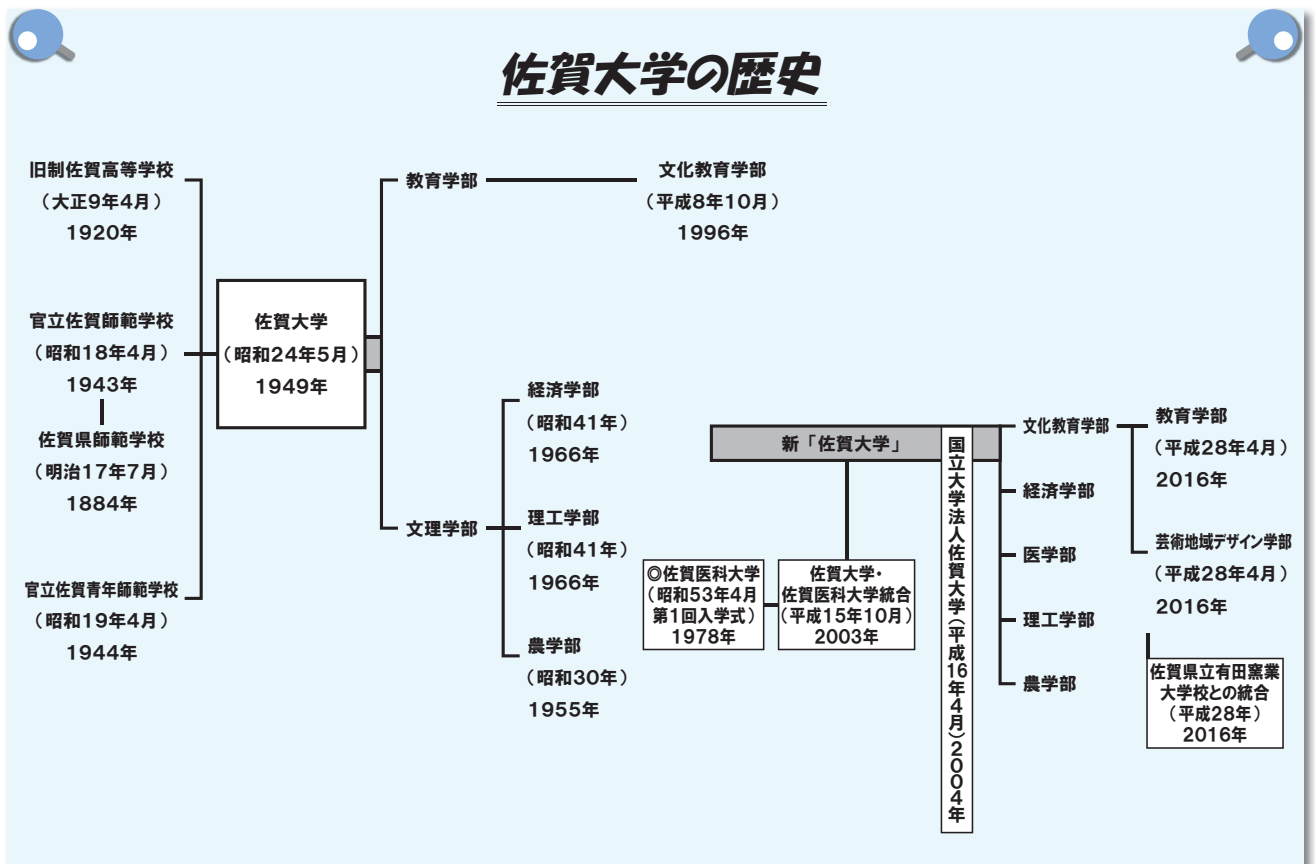
最後に、会員各位のご支援ご協力をお願いしますと共に、「コロナ禍」の中、皆様方のご健康とご多幸を心よりご祈念いたします。

(2021, 5, 5)

佐賀大学の歴史

佐賀大学の歴史をご紹介しますと、昭和24年（1949年）に旧制佐賀高等学校、佐賀師範学校、佐賀青年師範学校を母体として、佐賀県佐賀市本庄の地に創設されました。その後、県内唯一の医学大学として昭和51年（1976年）に設置された佐賀医科大学と平成15年（2003年）に統合、さらに平成28年（2016年）には有田焼で有名な佐賀県立有田窯業大学校との統合を経て、現在の6学部（教育・芸術地域デザイン・経済・医・理工・農）、7研究科（学校教育学・地域デザイン・先進健康科学・医学系・理工学・工学系・農学）体制となり、県内に本庄・鍋島・有田の3キャンパスを有する国立総合大学として教育・研究・社会貢献活動が展開されています。

「佐賀大学 統合報告書2020」から引用



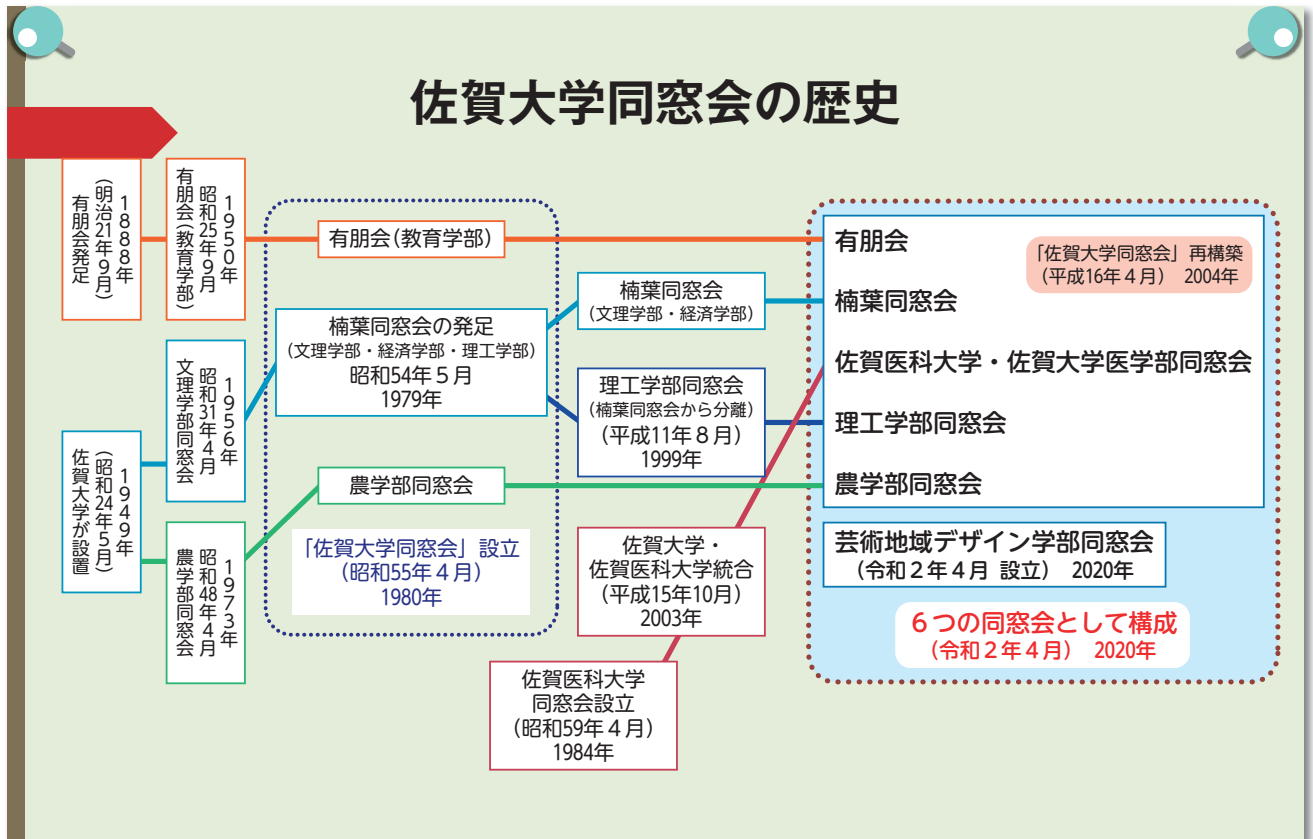
佐賀大学同窓会の歴史

昭和24年（1949年）5月に「佐賀大学」が設置され、「有朋会」「文理学部同窓会」「農学部同窓会」の同窓会が設立されました。昭和54年（1979年）5月には「文理学部同窓会」が「楠葉同窓会」として発足しました。その後、「楠葉同窓会」から「理工学部同窓会」が分離しました。

平成15年（2003年）10月に佐賀大学と佐賀医科大学が統合し、5学部を有する佐賀大学が誕生しました。

これを契機に、平成16年（2004年）4月に「有朋会」「楠葉同窓会」「佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会」「理工学部同窓会」「農学部同窓会」の5学部の同窓会で構成された「佐賀大学同窓会（全学同窓会）」に再構成されました。

令和2年（2020年）4月には「芸術地域デザイン学部同窓会」が発足し、6学部同窓会として構成されています。



佐賀大学の風景（昔と今）



旧佐賀大学正門付近



現在の佐賀大学正門付近

令和3年度（2021年度）春期定例役員会 事業計画、予算を決定

2021年度春期定例役員会は新型コロナウイルス感染の拡大を防ぐため、2年連続で書面会議により行った。

審議の結果、令和2年度事業報告・決算報告、令和3年度事業計画案・予算案及び新役員の承認を得た。

今回理事長が交替となり、佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会会員の市場正良氏が選出された。

I. 令和2年度事業報告

1. 会報発行事業

佐賀大学同窓会報「楠の葉」33、34号を発行した。
33号は会員へ発送、34号はホームページで閲覧。

2. 事業活動

1) 県外支部会、佐賀県内地区会等活動

新型コロナウイルス感染の拡大防止のため、開催を予定されていた支部会・地区会は中止となった。

2) 佐賀大学と佐賀大学同窓会の意見交換会

当初は令和2年5月に予定していたが、新型コロナ禍で全国に緊急事態宣言が発令され延期となった。大学当局と日程調整を行い9月に開催した。大学側から6名、同窓会側から11名の参加だった。

3) 佐賀大学校友会への支援

校友会費として247,500円の支援を行った。
(1人2,500円)

4) 学生支援（キャリアデザイン講座）

キャリアデザインの8講座の講師に公務員、教員、民間企業、芸術系のOB、OG講師8名の派遣。今年度は対面授業ではなくリモートでの講義となった。また、キャリアデザイン講座受講者に「佐賀大学同窓会の紹介」をパワーポイントの音声ファイルで紹介した。

5) 佐賀大学同窓会会長賞

4学部から推薦された3名及び1団体に佐賀大学同窓会会長賞が授与された。学位記授与式

が簡素化され、式の中で直接授与できなかったため表彰状・記念品は郵送した。

6) 第28回佐賀県青春寮歌祭

令和2年11月14日（土）に予定されていたが、新型コロナ禍の影響で中止された。
巻頭言・学生歌等の練習も今年度は行われなかった。

7) 大学祭への支援

本庄・鍋島キャンパス大学祭は、新型コロナ禍の影響で中止となり、支援は行わなかった。

8) その他

2020年度は新型コロナ禍の影響で支部会・地区会にも影響が出た1年だった。春期・秋季定例役員会は開催できず、また年5回の代表役員会のうち2回はリモートで行った。
2020年度は新入生の会費納入率が下がった。新型コロナ禍の影響で新入生の家庭の経済的状況を鑑み、例年行っている未納者への督促状の発送は行わなかった。

II. 令和3年度事業計画

令和2年度事業の継続と充実を図ることになった。

III. 令和2年度決算及び令和3年度予算（概要）

【単位：千円】

科 目	令和2年度決算	令和3年度予算
収入の部		
前年度繰越金	5,546	4,599
人件費清算分	1,300	1,400
収納金	11,088	10,560
雑収入	94	96
合計	18,028	16,655
支出の部		
運営費	8,128	8,230
業務・活動費	5,301	7,225
予備費	0	1,200
合計	13,429	16,655

収入18,028 - 支出13,429 = 残高4,599（次年度へ繰越）

令和3年度 佐賀大学同窓会役職員名簿

◎芸術地域デザイン学部同窓会からの役員は副会長のみとする。

R3.5現在

役職	担当	氏名	学部卒年学科	役職	担当	氏名	学部卒年学科
会長	佐賀大学同窓会	川副 操	農学・S44農土	理事	情報管理部	古島 智恵	医学・H11看
副会長	有朋会	山田 直行	教育・S47美	〃	〃	田中 稲穂	理工・H2化
〃	芸術地域デザイン学部同窓会	石丸 圭汰	芸地デ・R2芸	〃	〃	田中 宗浩	農学・H4生
〃	楠葉同窓会	江口 洋一	経済・S49経	〃	学生支援部	岡 陽子	教育・S54中
〃	佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会	※西村 知久	医学・H4医	〃	〃	大塚 浩司	経済・S59経
〃	理工学部同窓会	穂屋下 茂	理工・S49機	〃	〃	矢ヶ部伸也	医学・H9医
〃	農学部同窓会	水田 和彦	農学・S51農土	〃	〃	宮地 幸夫	理工・S50工化
理事長	庶務部長	市場 正良	医学・S61医	〃	〃	田中 治	農学・S59園芸
副理事長	会報発行部長	森田 昭	農学・S52農学	〃	支部強化部	堤 公一	教育・H6小
〃	情報管理部長	山中 輝樹	理工・H6情	〃	〃	坂田 智宏	経済・S62経
〃	学生支援部長	江口 達也	経済・S60経	〃	〃	松下 英友	医学・H14医
〃	支部強化部長	山口久美子	教育・S41小	〃	〃	山口 智啓	理工・S52生機
理事	庶務部	黒木 正孝	教育・S53小	〃	〃	吉賀 豊司	農学・H2園芸
〃	〃	長 安六	文理・S44経	監事	〃	末次 利隆	教育・S51中
〃	〃	※江口有一郎	医学・H6医	〃	〃	黒木 泰彦	経済・H11経
〃	〃	島 公二武	理工・S50機	〃	〃	吉岡めぐみ	医学・H12看
〃	〃	河野 宏	農学・S63農学	〃	〃	中島 道夫	理工・S47化
〃	会報発行部	徳安 和博	教育・H2美	〃	〃	瀬尾 裕一	農学・S63農学
〃	〃	松尾 和俊	経済・S62経	理事	事務局長	平野 禎亮	教育・S50小
〃	〃	相島 慎一	医学・H8医	顧問	〃	久間 善郎	文理・S37法
〃	〃	小玉 純士	理工・S62建	〃	〃	宮島 豊秀	教育・S35小
〃	〃	郡山 益実	農学・H7生	〃	〃	金丸 安隆	農学・S43農
〃	情報管理部	中村 隆敏	教育・S61美	〃	事務職員	姉川悦子・宮司佐和美・森永眞佐子	
〃	〃	八谷 浩司	経済・S61管	〃	〃		

※医学部役員は7月の総会で変更有り

佐賀大学同窓会事務局職員の紹介

《佐賀大学同窓会及び各学部同窓会の事務職員（主な担当同窓会）》

- ・平野 禎亮 佐賀大学同窓会事務局長
- ・姉川 悦子 佐賀大学同窓会事務局 佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会事務局
- ・宮司佐和美 佐賀大学同窓会事務局 楠葉同窓会事務局
- ・森永眞佐子 佐賀大学同窓会事務局 農学部同窓会事務局
- ・竹下 敬教 有朋会・芸術地域デザイン学部同窓会事務局長
- ・末次眞喜子 理工学同窓会事務局

新型コロナ禍の中、諸々の同窓会行事に影響が表れていますが、同窓会事務局職員一同、佐賀大学同窓会と各学部同窓会活動の円滑な推進のために頑張っています。同窓会会員の皆様、佐賀大学と同窓会の発展のために今後ともご支援ご協力をお願いします。

同窓会NOW

有朋会

異文化とわたし

芸術地域デザイン学部 教務補佐員 大屋 和 (文化教育・R2年卒)

私は、学生時代に異文化について興味を持ち始めてから芸術地域デザイン学部で教務補佐員をしながら、日本語ボランティアへの参加を続けています。

学生の頃は、佐賀に来られた外国人の方が実際に生活をしていく中で、どのようなことに直面するか話を聞くだけでと表面上でしか理解できそうになかったのが、約8ヶ月間知り合いのいないニュージーランドへ旅立ちました。実際に自分が外国人になり現地の人と共に働き、生活を送る中で言葉の壁、文化の違いの戸惑い、孤独感などを強く感じる経験をしました。一方で、あまり英語が話せない私を広い心で受け入れいつも笑顔で接し、困っていることがあると助けてくれるような方々との出会いもたくさんありました。

この経験から、外国へ来て現地の言葉が話せないから関わりを持たないことは相手からしたら寂しいもので、相手の生い立ちや文化や習慣などを知り、もし困り事があればそれをどのように解決すればいいのか一緒に考えることが大切なことだと感じました。

正直、昔から国語は苦手科目の一つではありますが外国の方々の役に立ちたく、日本語の教え方を工夫したり、一緒に楽しく日本語と彼らの国や文化について学んだり、日本での暮らしについて話せたらと思いつながりながら交流しています。

また、現在はコロナウイルスの感染拡大に伴い、日本語教室に来られる生徒さんの数は多くありません。以前のようにさまざまな国の方が集って一緒に日本語を通してコミュニケーションをとり、いつも笑顔が溢れていた日常へ戻るよう願っています。



同窓会NOW

芸術地域デザイン学部同窓会

カメラのレンズ越しに

(株)ピラミッドフィルム 山城 彩香 (芸地デ・R2年卒)

学部の1期生として佐賀大学を卒業して、はや1年が経ちました。広告制作会社に入社し、東京という知らない土地、想像を超えて忙しい映像制作という現場、そして不慣れなコロナ禍での仕事。すべてが目まぐるしい日々でした。

入社1年目の夏。映画を制作することが決まり、志願してその現場に飛び込みました。命を削って映像を作るプロが集い、毎日怒られながら汗だくで走り回っていましたが、隙があればカメラモニターを覗いていました。

カメラというのは不思議なもので、どこにでもあるような風景も、レンズを通すと別世界に見えます。その衝撃と感動は、学生の頃から変わることがありません。



在学中、授業外の時間には、企画書かカメラを持ってやはり走っていました。そんな私を、1年生の頃から一緒に悩んでくれた中村教授をはじめ、県庁のフィルムコミッションさんなど、優しく温かい方々が支えてくれました。ロケ地を決めるため、県庁職員さんの車で小城や唐津、みやきなどを巡り、美しい風景を眺めながら話した日のことはずっと覚えています。

だからかもしれません。就職活動の最終面接で「君は映像を作る苦勞を知っているね」と言われたことが印象に残っています。私にはその「苦勞」という言葉が、キラキラと輝いて見えました。映像作りを通して、佐賀の人、風景に出会った喜びを思い出したからです。

同窓会NOW

楠葉同窓会

おもいもよらない

佐賀大学監査室 内田 寛 (経済・H21年卒)



平成21年3月佐賀大学経済学部経済システム課程を卒業後、横浜市の会社でシステムエンジニアとして働き、退職後、採用試験を経て平成24年8月から現在まで、佐賀大学の事務職員として働いております。経験した主な業務のほとんどが大学の事務系情報システムに関するものでした。令和3年4月から監査室に配置換えとなり、大学のガバナンスへの内部監査という、全く未知の分野の業務を経験しています。

周囲から「系統の違う部局に異動して大変なんじゃないか？」と聞かれますが、不思議と学生時代から未知なことを選んでいる経験があるので、人間関係を除けば、そこまで苦勞を感じていません。そこで、この執筆依頼を機に、そう思う原因となる、学生時代を振り返ってみようと思いました。

中学まで文系だった私は高校入学後、なぜか理系クラスを選択したため、クラスの落ちこぼれになります。文系だったせいか、得意も不得意もなくなり、結果、経済学部の受験を高校から許されることになります。平成17年4月、佐賀大学に入学、文系に戻ったのを機に回天を狙っていたのですが、理系で高校を過ごしていたために、文章に対する抵抗がとて強く、また社会科学全般の知識がないことに気づき、間もなく挫折しますが、多くの学部生とは逆に、経済数学や統計学

には抵抗がなかったため、中村博和先生（当時は准教授）のゼミに入ります。

この状況が就職活動にも影響を与えたのかは分かりませんが、唯一、内定を得たのが、大学主催の合説で受けた適正テストの結果が不思議と高評価だったからと面接をすすめられた横浜のシステムエンジニアの会社だけでした。情報処理技術を何も持っていなかった私でしたが、社会人の第一歩として、まず情報システム業界に足を踏み入れることになります。以降については文字数の都合、割愛しますが、当然、色々な困難が起きます。

冒頭記載の異動のタイミングにこの執筆依頼を受け、当初は社会人になってからの人生の振り返りの内容を記載しようと思いましたが、リーマンショック、SARS、東日本大震災、九州北部豪雨及び新型コロナウイルス等、色々困難があった中で、この場に載せられるような内容がなかったので、私の学生時代の紆余曲折を執筆しようと思いました。

現役生や、社会人になって間もなく自身の現実に落ち込んでいる人へ、「こんな変な人生、自分だけじゃないのだな」と、何か感じてもらえればと思います。

同窓会NOW

佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会

佐賀大学八戸溝宿舎の今

佐賀大学医学部病因病態科学 相島 慎一 (医学・H8年卒)



私は平成26年より佐賀大学八戸溝宿舎に住んでおります。4月に宿舎を彩っていた桜の木は徐々に枯れてしまい、コロナ渦と相まって殺風景になってしまいました。私が学生の頃には「カステラハウス」の愛称で呼ばれていましたが、今の学生は宿舎の存在すら知らないようです。平成初期には隣にAGAS（アーガス）がありましたが、現在はマックスバリュになっており24時間営業でたいへん重宝しています。築40年以上を経た宿舎は老朽化が激しく、台風で屋根が飛んだり、時に雨漏りすることもあります。私が住み始めた8年ほど前には、宿舎は新しく改修される予定でしたが、いろいろな要因が重なり改修話は白紙にもどって、現在に至っているようです。

以前は佐賀大学に勤務している教職員の方々には60世帯ほど居住されており、学生と教職員がBBQ、飲み会などをしてたいへん活気があったようです。現在は、年々居住者が減少し現在は約半分が空き部屋になって

いますが、職場では接点がない本庄と鍋島の教職員が交流する場であると同時に、開成地区の住民の皆様との地域交流の場でもあり、みんな楽しく過ごしています。部屋数も多く、家賃は安く、私はとても快適に過ごしています。コロナが落ち着いたら、宿舎で、大勢で盛り上がることを夢見しています。



同窓会NOW

菱実会（理工学部同窓会）

還暦を超えてしまいました

佐賀大学を昭和56年（1981年）に卒業して、40年が経過しました。現在（令和3年（2021年）6月）で63歳になります。会社員生活も、定年再雇用という形態で継続しております。本稿では、自分自身にまつわる還暦前後の変貌を3点抽出し報告します。

1. 生活習慣病

若い頃からメタボ体形で、年に1回の身体検査では、二次検査を指摘されていました。それを数十年、数値は徐々に上昇していたハズですが黙殺です。ついに、60歳前で要治療に昇格しました。これまで病院が嫌いで、風邪にかかっても市販の薬で凌いできました。思い返しても20年くらいは病院へは行って無かったと思います。そんな私が一大決心で病院通いを始めました。もう1点、病院嫌いは歯医者嫌いでもあります。そんな私が、定期的に歯の掃除に通っております。おかげ様で、病氣自慢に参加できるようになりました。

2. バイク

何をトチ狂ったのか、還暦過ぎたらバイクに乗ろうと思い立ちました。自動二輪の免許を保有している訳ではないので、自動車学校に申し込みました。ここまでは、勢いだけで可能でした。いざ教習が始まると、反射神経が鈍く、なかなか上達できませんでした。自分の息子くらいの教官に叱られながら、追加練習を重ねて、非日常を感じておりました。やっと免許取得でき、

国際航業株式会社 柴田 正文（理工・S56年卒）

中古のヤマハSR400を購入しました。時々乗車していますが、下手は下手なりに気持ちが良いものです。いつか遠くへ行きたいな。

3. 道草

現役時代の出張は、わき目もふらず行き帰り、勤務先に戻って整理整頓。本当に真面目な（面白みのない）会社員でした。しかし、定年再雇用になりました。出張帰りにももしも余裕ができたなら、道草しようと考えました。実施例を挙げますと、高千穂峰へ山登り、指宿の砂蒸し温泉に入湯、島原鉄道の黄色い電車に乗り鉄、うなぎの里にて1週間連続うなぎを食す、三大国道のうち国道439号（通称よさく）を走行、などです。これ全て出張帰りです。晴れて不良会社員になりました。

以上、他の方にはどうでもいい話ですよ。失礼いたしました。



同窓会NOW

農学部同窓会

仕事を通して恩返し

株式会社高崎総合コンサルタント 地理空間情報部 田代 大祐（農学・H31年卒）

私は平成31年に佐賀大学農学部生物環境科学科を卒業しました。

学生時代は浅海干潟環境学を専攻し、郡山益実先生の研究室でご指導をいただきながら大学生活を過ごしました。主な研究内容は、東よか干潟に生息する「シチメンソウ」の調査を行っていました。

卒業後は、久留米市に本社を置く株式会社高崎総合コンサルタントという会社に入社致しました。現在入社3年目として、日々会社の方からの指導を受けながら毎日を過ごしております。仕事内容は社会インフラサービスにおける技術の提案や設計で、その中で私は地理空間情報部という部署に所属し、現在測量士としての測量の仕事をしております。まだまだ測量士としては未熟ですが、少しでも早く1業務を遂行する能力を持てるよう努力をしている毎日です。同じような仕事内容をしていても、目的によって手法が変わったりするので、多くの

経験を積み、知識や技術を得ることがとても大切な仕事となっていて、今はその経験を積んでいる段階です。本社が久留米市という事もあり、仕事で佐賀県に行くことも多く、大学時代お世話になった佐賀県に仕事で恩返しができるよう、少しでも早く一人前の技術者として成長できるようになりたいと思っております。



令和2年度佐賀大学同窓会長賞表彰受賞者



佐賀大学同窓会では、社会活動、教育、研究等で顕著な社会貢献があったと認められる個人又は団体に「佐賀大学同窓会長賞」を授与しています。

令和2年度は佐賀大学6学部のうち、4つの学部から推薦がありました。推薦があった学部からの推薦書を佐賀大学同窓会役員会で審査した結果、下記の方々に佐賀大学同窓会長賞を授与することになりました。

佐賀大学学位記授与式（令和3年3月23日）が、新型コロナウイルスの感染拡大の観点から、例年より規模を縮小して執り行われました。式典の中で同窓会長から直接、受賞者に授与する予定でしたが、それができなくなり、表彰状と記念品は、受賞者の方々に郵送いたしました。

受賞された皆様、「佐賀大学同窓会長賞」の受賞、あらためて、おめでとうございます。佐賀大学の同窓生となった皆様。これから先、佐賀大学で培った力と佐賀大学の卒業生と言う誇りを持って大いに羽ばたいてください。

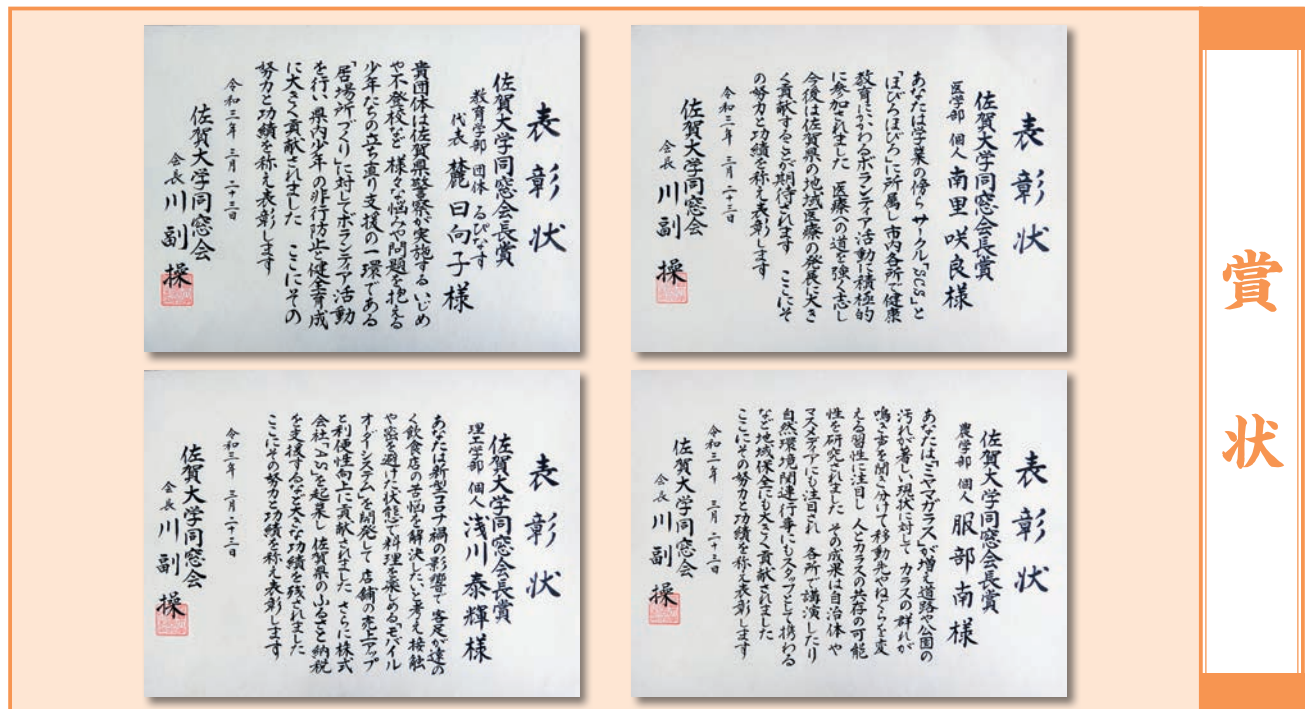
佐賀大学同窓会は、これからも皆さんを応援しています。

4つの学部からの受賞団体・個人の受賞理由を下記に記します。

学部	氏名（団体名・代表者氏名）	表彰理由
教育学部	団体 るびなす 麓 日向子	当団体は、平成16年から、佐賀県警察が、いじめや虐待、不登校など様々な悩みや問題を抱える少年たちの立ち直り支援の一環として実施している、「居場所づくり」活動を中心にボランティア活動を行っている。県内少年の非行防止と健全育成に多大の功績を残している。
医学部	個人 南里 咲良	看護学科の中で成績優秀で、学業の傍ら「SCS」と「ほびろほびろ」のサークルに所属し、健康教育にかかわるボランティア活動で活躍した。医療への道を強く志し、今後は佐賀県内への就職が内定していて、佐賀県の地域医療の発展に大きく貢献することが期待される。
理工学部	個人 浅川 泰輝	新型コロナ禍の影響で、飲食店の苦悩を解決したいと考え、接触や密を避けた状態で飲食店の料理を楽しんでもらえる「モバイルオーダーシステム」を開発し、店舗の売上アップと利便性向上に貢献した。更に株式会社ASを起業し、佐賀県ふるさと納税でも支援を集めるなど大きな功績を残した。
農学部	個人 服部 南	ミヤマガラスが増え排泄物による道路や公園の汚れが著しい現状を、カラスの群れが鳴き声を聞き分けて移動先やねぐらを変える習性に注目し、人とカラスの共存の可能性を研究した。佐賀県の鳥獣対策会議で講演をしたり、自然環境関連行事にもスタッフとして携わったりと、地域の自然環境保全に大きく貢献した。

受賞者の団体・個人に授与した表彰状です。賞状の文面は一人ひとり異なり、賞状の筆文字は、賞状書士の方に依頼しました。

賞状に使用しました紙は、佐賀で300年の歴史を持つ「肥前名尾和紙」です。



賞状

受賞者の喜びの声

佐賀大学同窓会長賞を受賞して

団体 るびなす 代表 ^{ふもと}麗 ^{ひなこ}日向子

この度は、同窓会長賞という輝かしい賞を頂きましたことを、「るびなす」を代表して感謝申し上げます。

私たちは、佐賀大学に入学して、様々な活動を紹介していただく中で、先輩方が子供たちに真摯に向き合う姿、活動内の温かい雰囲気、に惹かれボランティア団体「るびなす」に入りました。そこで問題等を抱える少年の立ち直りの支援の一環として、佐賀県警が行っている「居場所づくり」活動に携わりました。

この活動で、様々な感情に触れ、一喜一憂しながら多くのことを学ぼうちに1つ感じたことがあります。それは「自分が子供の居場所になる」ということです。活動や、学校現場で子供と関わると、誰かに話を聞いてほしい、気持ちを理解してほしいという表情や行動をよくしています。その話や気持ちを、子供が素直に話すことのできる場所、一緒にいるだけで安心する場所に私自身がなり、他人や学校、社会をつなぐ架け橋になれたらいいなと思います。そのために表情や行動のようなサインを見逃さず、人と人の感情や事情が交差する中で、聞こえない心の声に耳を傾けられる人でありたいです。

最後に、学生ボランティア団体「るびなす」の活動において御指導いただきました先生方、佐賀県警察少年サポートセンターの皆様、日頃よりお世話になっている皆様にお礼申し上げます。

私たち「るびなす」の精神は脈々と受け継がれており、受賞の誇りを胸に、これまで同様、活動の姿勢を崩すことなく、学生生活や仕事に向けてより一層精進して参ります。本当にありがとうございました。



佐賀大学同窓会長賞を受賞して

個人 ^{なんり}南里 ^{さくら}咲良

この度は佐賀大学同窓会長賞をいただき、ありがとうございました。

実習やボランティア活動を通して学んだことは、私にとって貴重な経験となりました。そしてそれぞれの経験と、多くの方との出会いを大切にできたことが、今の自分をつくっていると感じます。私にとって、この4年間は困難の連続でしたが、看護学科の先生方をはじめ、多くの困難を乗り越える勇気をくださった方々に感謝の気持ちを伝えたいです。

4月からは佐賀県保健師として、母子保健福祉を担当しています。療養者一人ひとりのその人らしさを尊重し、療養者の強みが発揮できるような支援を実践できる保健師を目指して、今後も日々努力する姿勢を大切にしていきたいと考えています。



佐賀大学同窓会長賞を受賞して

個人 ^{あさかわ}浅川 ^{たいき}泰輝

このような栄誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。

私は、コロナ渦の中で困っている飲食店を盛り上げるべく、スマホから簡単に料理が注文できるシステムを開発いたしました。このシステムは一つの料理店にしながら、別の店舗の料理を注文できるシステムです。このシステムを使い、複数の店舗が協力しあうことによって、地域全体での事業の活性化に貢献できます。

現在、このシステムを広げるべく、様々なコンテストやイベント等で紹介させていただいております。先日行われた“さがラポチャレンジカップ”という、佐賀県全体で開催された虹コンでは最優秀賞をいただき、“九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト”では優秀賞をいただくことができました。

また、2020年10月に学内ベンチャーとして株式会社AS（アズ）を立ち上げました。今後は企業の社長として、佐賀大学の学生として、地域事業の活性化に向け、全力を尽くしてまいります。この度は誠にありがとうございました。



佐賀大学同窓会長賞を受賞して

個人 ^{はっとり}服部 ^{みなみ}南

この度は、佐賀大学同窓会長賞という大変名誉ある賞を頂き、誠にありがとうございました。

私は農学部のシステム生態学分野で4年間、ミヤマガラスの越冬生態の研究をしてきました。大学でカラスの研究をすることが高校生の頃からの夢で、分属された当初は見切り発車のように始めた研究でしたが、こんなに様々なことに携われるとは思っていませんでした。多くの皆様に支えられて続けることができた研究ですが、何より指導教員の徳田誠准教授が様々な場所と人へ繋がる扉を用意してくださったことが研究を続けられた大きな理由だと考えています。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

4月からは北九州市の環境調査会社で鳥の調査員として幅広い種の鳥と向き合っています。在学中に学んだ知識や経験を活かし、日々精進いたします。





理事長就任にあたり

市場 正良 (医学・S61年卒)

医学部同窓会から理事長を選任する順になり、役員の中で本庄キャンパスに最も出入りしている私が担当することとなりました。医科大3期生で昭和61年卒です。卒業後は病院へは行かず地域保健科学講座(現佐賀大学医学部社会医学講座)で化学物質の健康影響に関する研究に弟子入りし、現在に至っています。医学部で病院以外の仕事があるの?と思われるかもしれませんが、医学部の教員の多くは、附属病院の診療にも従事する臨床医学系の教員ですが、その他、人体の機能について教育研究する基礎医学系と疾病予防について教育研究する社会医学系(公衆衛生ともいう)があります。社会医学系の環境医学、産業医学という分野を担当しています。環境や

労働の健康影響です。医師国家試験には、少しだけですが、地球温暖化や空気、上水下水、廃棄物処理等の問題も出るので。専門に関連した業務として、佐賀大学全学の環境安全衛生管理室長を兼任し、大学のエネルギー使用量の削減や研究室の化学物質管理の業務のため、週に1回は本庄に来ています。

私は、卒業生の中で最も長く大学に在籍していることもあり、同窓会の仕事には長年関わってきました。医科大学と佐賀大学の統合の時期には、医科大同窓会長として当時の佐賀大学同窓会役員の方々と話し合いを繰り返したことが思い出されます。今後同窓会活動の円滑な運営に貢献できるよう努力していきます。

佐賀大学同窓会・佐賀大学の動き (令和3.1~令和3.12)

- | | |
|--|---|
| <p>1.1 佐賀大学同窓会会報「楠の葉」第34号発行
(会報の郵送は年1回のみ。1月発行の第34号会報誌は同窓会ホームページでの閲覧)</p> <p>2.10 佐賀大学同窓会「第5回代表役員会」/オンライン会議での実施</p> <p>3.23 佐賀大学学位記授与式/佐賀市文化会館
※(学位記授与式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため簡略化され、「佐賀大学同窓会長賞」の授与はできなかったため賞状は郵送した。)</p> <p>3.31 2020年度の終わり 今年度は新型コロナ禍の為、人の集まりが制限され、様々な同窓会行事が制約され、同窓会活動に影響が出た1年だった。早い新型コロナの収束・終息を願う。</p> <p>4.3 令和3年度佐賀大学入学式 10:00~/佐賀市文化会館
※(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催されなかった令和2年度入学生対象の入学式が時間をずらして行われた。11:30~)</p> <p>4.8 佐賀大学同窓会「第1回代表役員会」/菱の実会館</p> <p>4.15 佐賀大学同窓会「春期定例役員会」
※(新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議)</p> | <p>4.26 佐賀大学同窓会会報「楠の葉」第35号編集会議</p> <p>4.28 佐賀大学同窓会 臨時会長会/菱の実会館</p> <p>5.20 佐賀大学と佐賀大学同窓会との意見交換会/菱の実会館
※(新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期)</p> <p>6.10 佐賀大学同窓会「第2回代表役員会」/菱の実会館</p> <p>7.1 佐賀大学同窓会会報「楠の葉」第35号発行(会報誌は会員へ郵送)</p> <p>(今後の予定)</p> <p>10.14 佐賀大学同窓会「第3回代表役員会」/菱の実会館</p> <p>10.21 佐賀大学同窓会「秋期定例役員会」/菱の実会館</p> <p>11.6 佐賀大学ホームカミングデー/佐賀大学本庄キャンパス</p> <p>11.27 第28回佐賀県青春寮歌祭/エスプラッツホール
※(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)</p> <p>12.9 佐賀大学同窓会「第4回代表役員会」/菱の実会館</p> |
|--|---|

会費納入のお願い

佐賀大学同窓会は、同窓会会報「楠の葉」の発行、学生の就職支援、佐賀大学同窓会長賞の授与、キャリアデザイン講座への講師派遣支援、支部会(県外)・地区会(県内)活動への支援、佐賀大学大学祭への支援、佐賀大学校友会への支援など多くの事業を行っています。それらの活動は、皆様方より納めていただく会費によって運営されています。

会費納入を是非よろしくお願いします。会費を納めていない人にお声かけをお願いします。

恩 師 情 報 ……この一年

定年退職（令和3年3月31日）

松下 一世 教育学部	佐長 健司 学校教育学研究科	渡邊 啓一 農学部附属アグリ創生教育研究センター
宮脇 博巳 教育学部	平地 一郎 経済学部	高橋 英嗣 理工学部
栗原 淳 教育学部	熊本 千明 全学教育機構	深井 澄夫 理工学部
大隅 秀晃 教育学部	相野 毅 全学教育機構	久木田明子 医学部
角 和博 教育学部附属教育実践総合センター	早川 洋一 農学部	

訃 報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

伊 藤 榮 彦 佐賀大学名誉教授 理工学部	令和2年4月12日
渡 邊 訓 甫 佐賀大学名誉教授 大学院工学系研究科	令和2年10月12日
後 藤 茂 男 佐賀大学名誉教授 理工学部	令和2年12月21日
大 島 恒 彦 佐賀大学名誉教授 教育学部	令和3年3月29日

第10回佐賀大学ホームカミングデーの開催

（※新型コロナウイルス感染の状況で変更があります。）

【期日】 令和3年11月6日(土)午後～ 【場所】 佐賀大学本庄キャンパス

【目的】 佐賀大学の卒業生に母校佐賀大学を訪問してもらい、母校の現状を知り、恩師・学友との再会と交流を深め、今後の母校へのご理解とご支援をいただければ幸いです。

【対象】 卒業年等にかかわらず、全ての同窓生と本学の名誉教授

【内容】 大学の近況報告、講演、在校生によるアトラクション等
詳しくは、佐賀大学校友会のホームページ
(URL <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/>) の
「お知らせ」をご覧ください。

【申し込み・連絡先】

佐賀大学校友会事務局
E-mail: koyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp
TEL : 0952-28-8390

「第28回佐賀県青春寮歌祭」の中止

コロナウイルスワクチン接種の拡大に伴い「コロナ禍を乗り越えて」と題して開催を模索しておられた寮歌祭事務局。ワクチン接種が普及しても、参加者は佐賀県内のみならず、東京、名古屋、大阪、福岡などからも参加されるため、佐賀県内のみでの感染収束だけでは判断できないなどの理由で、今年度の開催も「中止」となりました。

参加者の健康安全を考慮すると致し方ないことでしょう。来年の開催を是非願いたいと思います。

ホームページの閲覧を

佐賀大学同窓会ホームページを開きますと、トップページには次の言葉が目に入ります。

「たて糸と よこ糸で 織りなす佐大の人間模様」

たて糸は、先輩後輩の繋がり よこ糸は同期生の集まり

中を開いていただきますと「佐賀大学同窓会」と「有朋会」「芸術地域デザイン学部同窓会」「楠葉同窓会」「佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会」「理工学部同窓会」「農学部同窓会」6つの学部同窓会の様々な活動の様子が記されています。是非ご覧になってください。

(ホームページ) <http://sadai.jp/alumni/>

ご意見メール等募集

会報についてのご意見をお寄せいただく場合は、郵送のほか電話またはE-mailでも受け付けております。

名前・住所変更等 ご連絡のお願い

住所変更、お問い合わせ等がありましたら、佐賀大学同窓会ホームページ「住所変更・お問い合わせはこちら」からお知らせください。

Tel : 0952-23-1253 Fax : 0952-25-5700 E-mail : dousoukai@sadai.jp

